

Tutti

岡山県合唱連盟機関紙

トゥッティ 第26号

発行責任者：岡山県合唱連盟
事務局長 内田毅

事務局：岡山市福泊168-7

TEL/FAX(086)274-2726

楽譜を読む

理事長 近藤 安介

過日の山陽新聞賞受賞の祝賀会には、連盟の皆様ご多忙のなかを沢山ご出席頂き心からお礼を申し上げます。今日は、当日ご挨拶したことをもう一度お話いたします。

私は楽譜を見るというか読むのが好きです（音楽をやっているのだから至極当たり前のことですが）。

おたまじゃくしが上を向いたり、下を向いていたり。尻尾があったり、なかったり。その尻尾が二つや三つに分かれていたりします。それらが真っ黒い羊の群れみたいにもらがっているかと思えば、広々とした空間を造ってたりします。

ときには、松葉が横を向いて開いたり閉じたり、「f」や「p」の記号が突然出て来たりします。何故こんなところに作曲家は「f」を書き入れたのだろうか。この「f」は楽しいのか嬉しいのか、悲しいのか苦しいのか、温かいのか、冷たいのか、硬いのか、柔らかいのか。

詞のついた音符群の流動と響き、それらに種々の多様な記号でアゴーギクやデュナーミクの曲の姿を伝達しようと譜面は語りかけてくれます。

そんなふう楽譜を見ていると、作家の作品への意図というかおもしろいものがひたひたと伝わってきます。

でも、時々脱線してしまって、とんでもない方向に想像力が働いてしまうこともあります。

モーツァルトはその時、蝶々のように舞い踊りながら、その辺にある紙切れにサラサラとこのカノンを書いたのかしら。ベートーヴェンも髪をライオンのように逆立てて、眉間にしわをよせて怒ったようにあの第九を書いたのかしら。いやいや、昇華された柔和な表情であの四楽章を愛と平和に満ちて書き上げたに違いない。



こんな不謹慎なことを思いながら譜面を見ているから、二、三頁読むのに半日位いすくたってしまう。

さて最近、ある指揮者が紙上で言っていました。

「楽譜は屍である。そこに演奏者がいて、音になったとき、はじめて命が与えられ、生き返るのだ」と。たしかにその通りです。楽譜そのものは単に印刷された紙にしか過ぎません。でも、私にはその角度から楽譜をみることが出来ません。本と同じです。

ピアノの巨匠ホロビッツはこんな見方をしています。

「楽譜は無限の宝石箱である」なんと意味深い言葉でしょう。この言葉は私の一番好きな言葉です。これからの人生で、最も大切にしていきたいと念じています。

#うつつちやん通信10b

Tutti 26号をお届けします。これまでと体裁がガラリと変わりましたがいかがでしょうか。またご感想をお寄せください。

今までは総て事務局がワープロをしていましたが、今年から理事以外で事務局員をお願いすることになり、私の手からTuttiも離れることになりました。この「うつつちやん通信」が私の担当となります。この欄が幅をきかさないうち、皆さんからの原稿をお待ちしています。

さて、連盟の上半期は大忙しです。すでに講習会が終わりましたが、9月まで毎月行事があります。

・六月二日(日)合唱フェスティバル
今年五十八団体が参加します。

・七月十四日(日)おかあさん大会
十二団体ほど参加して頂けそうですが、もう少し頑張っていたら十六

団体になれば全国大会に二団体推薦出来るのですが、全国大会は熊本です。

・八月十八日(日)県コンクール
今年更に早くなってお盆明けとなりました。お世話をする方も参加される方も大変だと思えます。

課題曲集は事務局に有ります。連絡いただければ送りますのでお早めに。

・九月二十八(土)二十九日(日)
中国合唱コンクール

今年岡山県の担当です。土曜日が高校・大学・職場の部、日曜日が中学

・一般の部の演奏です。
ここまで終わると少し暇になります。

後は二月のアンコンを残すのみです。今年には理事の負担を軽くしようと考えて、工夫をしています。本当に軽くなれば良いのですが。

(事務局長 内田)

合唱連盟指導者派遣講習会開かる

～移川先生によるボイス・トレーニング～

コール・ゆうぶんげん

竹並 利晃・藤田 泰毅

連盟の合唱講習会が、全日本からの派遣講師を迎えて、5月12日(日)に山陽女子高校の上代記念館で開かれました。

講習は、冗談を交えながらおもしろおかしく取っつきやすい雰囲気で行われました。移川先生のギャグは集まったお母さん方のハートをつかみ、場内は爆笑の渦でした。きっと、お母さん方にはよい母の日のプレゼントとなったことでしょう。200人程の講習生が集まったのですが、高校で講習会を開いているわりには高校生はあまり見なかったように思います。アンサンブルコンテスト等では若い人が随分参加されているようです。今回のような勉強会にも若い中高生の皆さんが参加していただければもっと盛り上がるに違いないですし、たまには学校先生以外から歌を習うのもおもしろいんじゃないかと思えます。

では、簡単に講習内容をレポートします。

発声の3つの基本要素とは

- 1 姿勢(立ち方)
- 2 呼吸(はき方)
- 3 共鳴(響かせ方)

の3つのことを身につけることです。

この3つの基本要素の内容はみなさんの知っているところのものと同じです。先生がおっしゃるには、本当に難しいのはこの簡単なトレーニングを毎日続けることができるか、ということです。

1.姿勢

Sempre Diretto(常にまっすぐ)に心がけなければなりません。

姿勢とは、数学における1+1=2みたいなもので、発声にとって避けては通れない基本中の基本です。先生はイタリヤ留学時代、実に3年もかけてsempre diretto(常に

まっすぐ)立つことを学ばれたそうです。「楽器は、常に完成された状態」にあらねばなりません。もし、ピアノがぐにゃぐにゃと形の定まらないものならピアニストは困ってしまいますね。歌い手だってそれは同じで、まず楽器としての自分の体を安定させなくてはなりません。そのためのsempre direttoなのです。練習と本番で楽器が違うよりも一緒の方がよいのは当然です。歌い手は、楽器を常に肌身はなさず持つておける点で幸福なのです。しかし、練習の時はだらりとしてて、本番直前になって姿勢を気にし始めるなんてことがよくあります。これでは練習と本番で大きく楽器の状態が変わってしまいます。練習の時座ってるんだったら、いっそのこと本番でも座っていた方が実力が発揮されるというものです。

全日本 姿勢で決まる 金賞候補

だそうです。

2.呼吸

文字どおり「はいたり、吸ったりすること」で、はくことの方が大事であり、空気は意識せずともはき終わったら自然にはいってきます。また吐き出すときに用いるのは主に下腹の筋肉で、更に胸腹、お尻の筋肉を補助的に用います。

3.共鳴

よく共鳴する状態を得るためには、眉毛をつり上げ(ボニーテールの位置に頭皮を引き上げる感じ、鼓膜を広げる感じ)、ストローで吸うようにして喉の奥を後ろに引っ張り、背中に大きななめくじがくっ付いたときのように背中を締め、宇宙人にあったときのように「はっっ！」と胸を膨らませます(この4動作を同時にやるのはなかなかつらい)。背中と胸の運動は、呼吸のためのトレーニングと混同しないように注意してください。

連続20回のプレスを何度もやったりなど、5時間の講習は結構ハードで、すっかりへとへとになってしまいました。今日覚えたトレーニング、果たして何日続けられるかな?

#うつつちゅん通信 10b

パート2

パート1を職場で打終えて家に帰ると、青木さんからTuttiの校正原稿がFAXで送られていました。見るともう一段事務局のためにスペースを空けてあったのでパート2を書きます。ではお楽しみ下さい。

中国合唱コンクールに付いて
日程はパート1の通りですが、昨年から中学校部門が同時開催となり、前回の三十一回大会より参加団体数が二十団体ほど増えます。また中学校を第四土曜日に開催できないため、日曜日の終了時刻は午後七時となります。

という事で、大会に参加されない団体にはお手伝いをお願いする事になります。より厳しい状況になることは間違いありません。また会計上も加盟全団体に負担をお願いする事になります。これは広告掲載料、チケット等のノルマを指しますが、これも厳しくお願いする事になるでしょう。

昨年の広島大会では大幅な赤字を計上してしまいました。連盟50年を控えて一般会計で赤字を補填する訳にはいきませんのでよろしくお願ひします。

広告にはA4八分の一ページで一万円と考えています。今からお願ひする企業の方と仲良くしておいて下さい。七月中には必要書類を揃えてお願ひします。

・五十年記念演奏会に付いて
指揮者は北村協一、関屋 晋、近藤安介と決まりました。早めに曲目を決めて、募集をして練習にと考えています。少年少女・中学・高校もそれぞれにステージをと検討しているようです。ハッキリとした枠組みを確定したいと思ひます。

・表彰に付いて：連盟への永年加盟(個人・団体)表彰を考えています。いづれ調査しますのでその折はご協力を。
・お詫び：コスモスコーラスさん、ご免下さい。演奏会の案内が間に合いませんでした。

(事務局長 内 田)

どうぞよろしく

(新たに加盟された合唱団の紹介です)

大高小学校育友会コーラスクラブ

皆さん、こんにちは。

私たちは、倉敷市立大高小学校に子供を通わせている母親たちで作っている育友会(PTA)コーラスクラブです。

部員の平均年齢の若さと美貌は、写真を見て頂ければ、お察し頂けると思いますが、何よりも部員の性格の良さと、チームワークの良さを誇って居ります。

各パートには、合唱歴が長く、音感の良い方がいて、各々のパートを引っ張って行ってくれています。

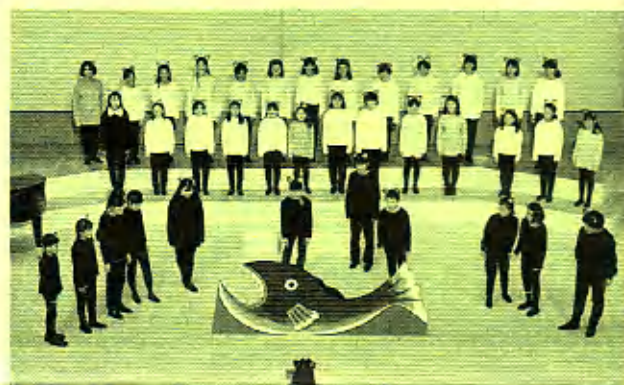
年々部員も増え、今年は歴史ある合唱連盟のお仲間に入れて頂き、声に磨きをかけようという所です。

私事で余談ですが、今、我々は夏のおかあさんコンクールに向けて「赤い機関車」という曲を練習中です。私は沖繩に特別な思いがあるので、この曲を歌っていると、胸にこみ上げて来るものがあり、歌えなくなる事もしばしばです。

あの美しい青い海と空を持つ沖繩が、かつて戦場となったこと、だからこそ余計に海の青さが美しく悲しい。その暗と明を、陰と陽を、悲しみと今の平和の幸せとを、どこ迄合唱で表現出来るか、我々の課題でありますが、私は、この曲を部員に紹介してくれた指揮者に感謝するとともに、素晴らしい作品に出会えた喜びを感じております。

練習日には、日頃の雑事を離れ、同じ目標に向かって部員一同励んで居ります。

連盟の皆様、どうぞよろしくお願い致します。(近藤記)



岡山少年少女合唱団

はじめまして！岡山少年少女合唱団です。私たちは小学2年生から高校3年生までの年齢幅の広い団体ですが、みんな仲が良く元気いっぱいの合唱団です。

岡山に天使のような歌声を響かせようと昭和42年10月に発足して27年、本当に地道にコツコツ活動を続けて来ました。

今度県合唱連盟の仲間入りをさせていただき、他の団体の皆様にいい刺激を受け、成長したいと思っています。今夏オーストラリア演奏旅行に向かって燃えています。また合宿を行い集団生活にも力を注ぎ、縦と横のつながりを大切にしています。これからもよろしくお願いします。

岡山芳泉高校合唱部

初めまして。岡山芳泉高校合唱部です。我が部はちょうど現部員が生まれた頃、昭和54年に創立しました。当時約20名、多い時には35名いた部員も、入学者の減少などで現在では13名(男声3名、女声10名)となっていました。勉強も大変ですが、それでも歌を歌いたいという者が集まって、毎日ほんの少しの時間を共有し、練習に励んでいます。

昨年までは、指導は先輩から受け継がれたものだけでしたが、今年からはそれに加え、先輩合唱団やOBの方にご指導していただけることになり、大変嬉しく思っています。今は週一回、先輩合唱団の方にボイストレーニングに来ていただいており部員一同、毎週その日を楽しみに練習しています。

OBの方の中には、各合唱団、各大学グリークラブの指揮者、学生指揮者を務めておられる方や、様々な所で活躍されているピアニストさんもいらっしゃいます。そういった先輩方のご活躍は私達にとって大変な喜びであり、また励みでもあります。

先輩方から受け継がれてきた“まず自分達が楽しむ”ということ。そして、ただそこにいて誰かが楽しませてくれるのを待つのではなく自分から“楽しむために何をすればいいかを考える”ということ。これだけは『芳泉の色』としてこれからも伝えていきたいと思っています。

まだまだ未熟な私達ですが、早く“歌を楽しんでいる”ということが伝わる演奏ができるようにがんばりたいと思っていますので、どうぞよろしく願いいたします。

コンサート情報

- コール・ゆうぶんげん & コールアニメ ジョイントコンサート
 日時：平成8年6月9日（日） 14時開演
 会場：岡山市立市民文化ホール（小橋町）
 曲目：ダブルコーラス ブラームス「Fest- und Gedenksprüche op.109」
 シアターピース 柴田南雄「追分節考」、
 イタリアン・ア・ラ・カルト、アニメソング集
 入場料：1000円
 コメント：遠く長崎からやってくるコールアニメとの異色の取り合わせ、
 乞うご期待！！
 問い合わせ先：086-221-5967山田、086-245-0479青木まで
- ジョインザライブパート2 (Join the Live part 2)
 日時：平成8年6月23日（日）13：30開演
 会場：倉敷市芸文館 大ホール（中央町1丁目）
 曲目：「Barcarola」、 「ME FALTA TIEMPO PARA UN TIEMPO」
 「CANTEMUS」、 「鶴」他
 入場料：1000円
 コメント：ころころJoint Liveに初挑戦！ベルベット・ポー、プチ・パニエ他と。
 問い合わせ先：086-264-5418広門（ころころ岡山）まで
- 京都大学男声合唱団、筑波大学メンネルコール、
 岡山大学男声合唱団コーラロータスJoint Concert
 日時：平成8年7月20日（土）
 会場：長岡京記念文化会館（京都府長岡京市）
 曲目：Sea Shanties、男声合唱組曲「Enfance finie」（合同）他
 入場料：未定
 問い合わせ先：086-252-4222小林（コーラロータス）まで

— 僕の勝手な連載 —

Vol.4 犬飼 將博

【質の高い合唱イベントの相次ぐ開催】

去る5/3（土）～5（月）徳島において「第7回コーラスワークショップ」（ハーモニー春号No.96 p.30参照）開催されたことはご存知の通りだと思います。残念ながら私は5/3・4と倉敷の本番のため行けませんでした。友人に聞いたところ今年も充実した内容だったそうです。

岡山からも何人かの参加があったと聞いています。どなたかの感想文がTuttiに掲載されるのを楽しみにしています。

さて、このほかにも「コーラス・スペース'96」「東京カントート'96」「ハンガリー講師による合唱セミナー」（ハーモニー春号No.96 p.28）の開催が予定されています。内容は私が保証しますので是非行って下さい。

また、先号のTuttiで紹介した「世界合唱シンポジウム」のツアーにあと4名ほどの空きがあります。（岡山県からの参加者のためにわざわざ空きをとってもらっています。）ころころ岡山から、9名ほどが参加が決まっています。是非一緒に行きましょう。

ここでは紹介しませんが、世界合唱連合の会員になれば、更に多くのイベントの情報が得られます。

〒466 名古屋市昭和区白金1丁目5-11-205
 TEL (052)-872-4136/Nifty 会員No. BZA0055
 犬飼 將博

【最近の岡山県合唱連盟】

先号のTuttiで「理事会・総会の次回の議題を予告したり、議事内容を紙面で報告したりすることで、より深い納得の上での運営ができると思う」と書きました。早速4月の理事会の報告があり、大変ありがたくおもいます。（担当の方は大変だと思いますが、がんばってください）欲を言えば、更に会員参加型の（一気に主体型は無理かな？）運営をするために、「議題の予告」と「会員の生の声の把握」に知恵を絞り、行動して下さることを望みます。・・・ということで、僕からの生の声の一つ。

県連主催の各イベントでリハーサルを含めた拘束時間が長く、他団体を聴く時間がその分短くなっています。他県（東京都など）では「10団体ほどのブロックを作り、ブロック内の合唱団はお互いの演奏を聴いて、感想を紙に書いて交換する」などの工夫がいろいろとされているようです。このことに限らず他県の情報を集め、新しいアイデアを出し合いながら、岡山県のラベル創りをしていきたいと思います。

【いっしょに勉強しませんか？】

また、岡山県のレベルupのために、合唱指導の勉強会を現在企画中です。合唱指導者にとって、指揮・声楽の知識や技術も必要ですが、合唱という分野の専門性を一緒に追求していきたいとお考えの方、連絡をお待ちしています。

編集後記

この度よりTuttiの編集は以下のメンバーでやらせていただくことになりました。

総監督 内田 毅
 委員 青木 千春
 石田 亨子
 原田 一郎
 山田 威夫

何分不慣れなものていろいろと不備なところもあろうかと思いますが、読みやすいTutti、観しやすいたuttiを目指して邁進していく所存です。
 今後ともよろしく願ひいたします。

なお、Tutti発行は5月、8月、11月、2月の年4回です。「うちの合唱団はなあこの間こうしたことしたんよ。」とか、「この間こんな演奏会聴きに行つてほつたわあ。」とか、どんなささいなことでも結構です。とんとん原稿をお寄せ下さい。原稿の送り先は

石田 〒700 岡山市いずみ町11-32 TEL/Fax(086)255-3717
 また、E-mailをご利用の方は、
 青木 caoki@dent.okayama-u.ac.jpまたは
 山田 RXN00717@niftyserve.or.jp宛にお送り下さい。
 今月号の感想なんかもらえたら非常にうれしいです。
 待つてまーす。